

12月1日から4日に開かれた成人教育についての国連によるこの大切な会議に際し、市民社会組織は80カ国からの500名の声を基に、強力で統一した意見をとりまとめた。また私たちはこの会議がどうしたら美辞麗句から一貫した行動をもたらすことができるかについての見解を示した。この会議において私たちは市民社会の存在感を示すことができた。実際、すべての成人と青年の教育への権利を保障するための行動を強化すべきであるという私たちの提案書は、すべての地域の22カ国の政府代表から全面的に支持され、14カ国からは概ね支持され、会議を通じて議論された。

市民社会による行動ならびに多くの政府からの支持の結果、いくつかの重要な前進がみられた。成人識字のための早急な行動の必要性が認識され、識字はこれまでのような単純な概念ではなく学習の連続性に留意することが示された。法律に基づいた、十分な予算と目標設定を伴う計画を作成することへのコミットメントが表明された。また計画策定にあたっては市民社会や成人学習指導者、学習者の参画が必要であることも示された。教育へのアクセスを阻害するさまざまな形態の差別が存在することについての強い認識も示された。成人教育の進捗状況をモニターすることへのコミットメントは明確な期限とともに強化された。人びとの移住によって増大する課題に対応するための教育を改善することへのコミットメントもあった。おそらく最も重要なことは、EFAのための世界的な財政支援メカニズムであるファスト・トラック・イニシアティブが成人識字も明示的に支援すべきであることを合意した点であろう。

しかしながら世界は様々な危機（食糧、燃料、緊急、気候、紛争）に直面しているため、成人教育は人びと、特に女性の力を高め、これらの危機に対応するためさらに拡充されなければならない。たとえば、コペンハーゲンで国連気候変動会議が間もなく開かれるにあたって、ブラジルのアマゾンで開かれた国際成人教育会議は、地球が直面している自然資源の危機に対応するためには人的資源の開発が非常に重要であること明らかにした。このことは成人教育の慢性的な財政不足を改善することが喫緊の課題であることを裏づけている。

CONFINTEAVI によって得られた前進をさらに推し進めるためにいくつかの重要な課題が残されている。

1. 教育予算の6%を成人と青年の教育に配分することを早急に政府はコミットする必要がある。
2. 先進国政府もまた教育援助額の6%を成人と青年の教育に配分することをコミットする必要がある。
3. ジェンダー校正を保証するために成人教育の役割は非常に重要であることへの認識が必要である。またジェンダーは統合的で横断的な問題であることへの明確な認識が必要である。
4. IMFによる処方箋の信用を傷つけた金融危機状況下において、教育への適切な投資を現在阻害しているマクロ経済政策を改善する必要がある。
5. 昨今、成人と青年の教育への権利に対する侵害が大規模に行われていることへの理解がもっと広がらなければならない。私たちは基礎的な成人教育は正当な人権であるという認識から、すべての成人教育を保証するための法律を政府は採択すべきであるという認識に移行する必要がある。

成人学習の政策と実践の改善のために、厳密なモニタリングを行うとともに、政府のパートナーとして市民社会は重要な役割を担っている。CONFINTEAVI におけるユネスコの莫大な努力を認めながらも、次回の会議では、修正案の扱いおよび成果文書を完成させるプロセスを大幅に改善させ、透明性を高めるべきである。

成人および青年の教育への権利に関する一貫した行動をとるための闘いを私たちは続けることを誓う。この基本的な権利が現実のものとなるように、私たちは、決意を新たにしてそれぞれのコミュニティや国での活動に戻る。